

公表

放課後等ディサービス 事業所における自己評価総括表 令和7年度 すくすく塾 新保

○事業所名	すくすく塾 新保		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月10日		令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年 4月 1日		令和8年 4月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の支援時間の内、完全個別対応の時間を確保しています。部屋も独立した構造になっていて、集中できる環境になっています。	学習に対する抵抗感を独自の支援方針で、「出来る」「やりたい」に変え、お子様の意欲を引き出し、学年に関係なく、お子様の習熟度に合わせた学習を進めています。	完全個別支援の為、オンリーワンの支援内容を実現しています。「電車やバスなど公共機関の利用体験をする。」等
2	保育士、児童支援員、社会福祉士、作業療法士、教員免許等の多種多様な専門の職員構成になっており、それぞれの専門性を生かして、チームで支援を行っています。	事業所内での研修や、外部研修会へ積極的に参加し職員の資質の向上を目指しています。	AIを導入し、脳科学から導き出されたアセスメントにより、5領域のうち必要な課題を的確な内容で支援に生かしています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の建物の構造が、2階に建てた為、個室化されているので、運動する際や利用人数により十分な広さが確保しにくい状況です。	運動面では、省スペースでも活動できる内容の物を選んだり、近くに広くて安全な公園があるので、公園を利用するのがのびのびと遊べる様になっています。	構造を変えることは難しいので、ねらいと効果を考えながら、狭いスペースでいかに実現するかを工夫していきます。
2	保護者同士の情報交換や交流の場が提供できていない状況です。	事業所内のスペースが区切られて独立した部屋しかない為、会場の確保に苦慮しています。	近隣の施設の利用を検討しています。
3	地域との交流の場が持ちにくい状況です。	遠方や地域以外からお越しになっているご家庭がほとんどである為、ご要望がないです。	